

実施報告書

えびなっ子^こ

サマースクール

2011年7月

海老名災害ボランティアネットワーク

平成23年度 えびなっ子サマースクール 実施報告書

1 日時及び参加学校

平成23年7月21日	午前9時～10時50分	海老名市立杉本小学校
平成23年7月22日	午前9時～10時50分	海老名市社家小学校
平成23年7月25日	午前9時～10時50分	海老名市大谷小学校
平成23年7月27日	午前9時～10時50分	海老名市海老名小学校

2 参加者

杉本小	5年生	13名	6年生	5名	計	18名
社家小	5年生	9名	6年生	13名	計	22名
大谷小	5年生	6名	6年生	13名	計	19名
海老名小	5年生	12名	6年生	6名	計	18名

3 実施内容

各学校とも、同じ内容で実施しました。

8時45分頃にサマースクール参加者全員が体育館に集合して、朝の会を行い、健康観察、スクールマスターのお話、本日の予定の確認を行っていました。

その後、全員が、それぞれの活動場所へ移動して活動等を行いました。

1時限目（9時～9時50分）は、ロープワークを実施しました。2時限目（10時～10時50分）は、2班に分かれて、ブルーシートを使用した三角テントを設営しました。

10時55分頃に、サマースクール参加者全員が体育館に集合し、終わりの会を行い、解散となりました。

(1) 杉本小

1時限目（9時～9時50分）

あいにくの天気であったため、教室に集合し、橋本代表が挨拶と災ボラ参加者（地域の先生）の紹介を行いました。

参加児童全員と保護者ボランティア及び担当職員の方々に、資料を配付し、参加児童にロープを渡して、ときどき防災体験を開始しました。

資料の1頁目から順にロープワークを実施し、順調に進んでいましたが、教え方が拙かったことにより、上手く結べない児童がいて、資料4頁③腰掛け結及び④よい結び、資料5頁は時間の関係で実施出来ず、資料6頁自分の体を結ぶもやい結びを実施して終了せざるを得ませんでした。しかし、何とか結びを覚えようと、どうするのと聞いてくる児童や、隣の児童から教わっている児童もいて、完成したときの笑顔が印象に残りました。中には、資料を見ただけで、ロープを結んでしまう子がいて、進行にとまどうこともありました。



2時限目（10時～10時50分）

5年生及び5年生の一部と6年生で、2班に分かれ、一つの教室内で、ブルーシートを使用した、三角テントを2張り設営しました。玉を使用した引きとけ結びでブルーシートにロープを付け、支柱をまき結びでブルーシートに固定しました。教室内ではペグの打ち込みが出来ませんので、ロープを床にガムテープで固定しました。

全員で各々の持ち場を担い、全員参加で無事にテントを完成させる事ができました。

完成したテントに入り、歓声を上げ、寝ころんだり、座ったりして、日頃のストレスを発散させるかのように、つかの間の楽しい時間を過ごしていたように感じました。記念撮影を行い、全員で手分けしてテントの撤収を開始し、ガムテープを取り除き、ブルーシートを畳み、きれいに後片付けを行いました。

テントの設営、撤収が予定した時間より早く終了してしまいましたが、橋本代表が終わりの挨拶をして終了しました。



(2) 社家小

1時限目（9時～9時50分）

天気が良かったため、グラウンドに全員集合し、橋本代表が挨拶と災ボラ参加者（地域の先生）の紹介を行いました。

参加児童全員と保護者ボランティア及び担当職員の方々に、資料を配付し、参加児童にロープを渡して、どきどき防災体験を開始しました。

資料の1頁目から順にロープワークを実施しました。杉本小ほど順調に進まず、時間の関係で、資料4頁からは②引きとけ結び及び資料6頁自分の体を結ぶもやい結びを実施して終了せざるを得ませんでした。隣の児童から教わる児童が少なく、また、一人一人どうするのと聞いてくる児童が、多かったことで、災ボラ参加者の人数がもう少し多くいることが必要なのかなと感じました。

2時限目（10時～10時50分）

5年生と6年生で、2班に分かれ、ブルーシートを使用した、三角テントを設営しました。玉を使用した引きとけ結びでブルーシートにロープを付け、支柱をまき結びでブルーシートに固定しました。ペグを打ち込み、ふた結びで、ロープをペグに固定しました。



全員で各々の持ち場を担い、全員参加で無事にテントを完成させる事ができました。しかし、1時限目で実施した引きとけ結び、まき結び、ふた結びが上手く出来ず苦勞していた。1時限目で、結び方の名前を話したのですが、ちょっと聞いただけでは、名前と結び方が上手くつながらないようでした。

ここでも、完成したテントに入り、楽しそうに皆がはしゃいでいました。

記念撮影を行い、テントを撤収し、後片付けを行いました。



テントの設営が短時間に終了しましたので、全員にロープを渡し、1時限目で上手くできなかったロープワークを再度実施しました。

橋本代表が終わりの挨拶をして終了しました。

(3) 大谷小

1時限目（9時～9時50分）

天気が良かったため、グラウンドに全員集合し、橋本代表が挨拶と災ボラ参加者（地域の先生）の紹介を行いました。

参加児童全員と保護者ボランティア及び担当職員の方々に、資料を配付し、参加児童にロープを渡して、ときどき防災体験を開始しました。

資料の1頁目から順にロープワークを実施した。時間の関係で、資料4頁からは②引きとけ結び及び資料6頁自分の体を結ぶもやい結びを実施して終了しました。キャンプの時にやってみると話していた児童が印象に残りました。

2時限目（10時～10時50分）

5年生と6年生で、2班に分かれ、ブルーシートを使用した、三角テントを設営しました。玉を使用した引きとけ結びでブルーシートにロープを付け、支柱をまき結びでブルーシートに固定しました。ペグを打ち込み、ふた結びで、ロープをペグに固定しました。

全員で各々の持ち場を担い、全員参加で無事にテントを完成させる事ができました。しかし、ここでも1時限目で実施した引きとけ結び、まき結び、ふた結びが上手く出来ず苦労していました。

ここでも、完成したテントに入り、楽しそうに皆がはしゃいでいました。

記念撮影を行い、テントを撤収し、後片付けを行いました。



児童から、ロープを結んでぶら下がるのはどうするのかとの要望があったので、テントの設営が短時間に終了したことで、資料4頁の③腰掛け結びを、ロープを接続して設置しました。児童の内2名が実際に腰掛けて、状況を体験しました。短いロープでも、適切につなげれば、ぶら下がる事が出来ることを認識したのではないかと考えています。

橋本代表が終わりの挨拶をして終了しました。

(4) 海老名小

1時限目（9時～9時50分）

あいにくの天気であったため、教室に集合し、橋本代表が挨拶と災ボラ参加者（地域の先生）の紹介を行いました。

参加児童全員と保護者ボランティア及び担当職員の方々に、資料を配付し、参加児童にロープを渡して、どきどき防災体験を開始しました。

資料の1頁目から順にロープワークを実施しました。時間の関係で、資料4頁からは②引きとけ結び及び資料6頁自分の体を結ぶもやい結びを実施して終了しました。

杉本小と同様に、資料を見ただけで、ロープを結んでしまう子が数人いて、進行にとまどうこともありました。

2時限目（10時～10時50分）

5年生と6年生で、2班として、2つの教室に分かれ、教室内でブルーシートを使用した、三角テントを設営しました。玉を使用した引きとけ結びでブルーシートにロープを付け、支柱をまき結びでブルーシートに固定しました。ペグの打ち込みが出来ないので、ロープを床にガムテープで固定しました。ここでも、1時限目で実施した引きとけ結び、まき結びが上手く出来ず苦労していました。

全員で各々の持ち場を担い、全員参加で無事にテントを完成させる事ができました。

ここでも、完成したテントに入り、楽しそうに皆がはしゃいでいました。特に6年生の班は、支柱が倒れるほど、騒ぎまわっていました。

記念撮影を行い、テントを撤収し、後片付けを行いました。

20分近く早く終わってしまいましたが、橋本代表が終わりの挨拶をして終了しました。



4 後書き

えびなっ子サマースクールは、海老名災害ボランティアネットワークが参加して2年目になります。昨年は、初回であったことで、色々な内容を実施し、試行錯誤しましたが、今回はロープワークとブルーシートを使用した三角テントの設営だけを実施しました。

今回の反省点は、1時限目のロープワークでは、時間が足りなかったこと、2時限目は、ブルーシートを使用した三角テントの設営と撤収、後片付けまで行っても、30分以内で終了してしまい、時間が余ってしまったことです。昨年は、テントの設営に必要なロープワークを実施してからテントの設営に掛かったことで、時間配分が上手くできたのではないかと思慮されます。また、昨年は1時限目にテントの設営、2時限目は室内でゲーム、卵の殻踏み、新聞紙の折り紙等を実施したため、グラウンドと室内との移動時間も必要であった。

時間配分の解決には、1時限目のロープワークからテントの設営に使用する部分（引きとけ結び、まき結び、ふた結び）を引き出し、2時限目の始めに実施してテントを設営する方法等、実施方法の検討が必要と感じました。

また、教え方、方法について、研究の余地があることが分かりました。今回のロープワークの内容は、ロープワークとしては初歩に類するもので、強度的には、今一の部分があります。しかし、基本的な結び方を網羅したことで、量が多くなってしまったことも、時間が無くなってしまった理由の一つと考えられます。

教える側もロープを裏返しに結ぶことを練習しておかないと、子ども達には良くわからな

いのではないかと感じました。次回、もしまた参加することがあれば、その辺も練習し検討しておくように心がけなければと感じた今回のサマースクールです。

子ども達は、1時限目の始め、ロープを渡したときは緊張して硬い顔をしていましたが、段々笑顔が出てきて、分からないことは積極的に聞いてくるようになり、出来たときの笑顔が良かったことや設営したテントの中に入り、明るい笑顔で楽しそうにしていたことで、サマースクールに参加して良かったと感じました。

参加した子ども達が、2時間の体験の中で、災害に常々対応しようとしている大人達がいることを少しでも感じていただけたのではないかと、また海岸や海に遊びに出掛けたとき、津波が来たときの逃げ場所を事前に見つけておくこと、津波警報が出たときすぐに逃げること、自分の命は自分で守るという橋本代表の終わりの挨拶で述べたことを、記憶のどこかに留めていただけることを信じています。

橋本代表を始め、暑い時期に参加御協力下された海老名災害ボランティアネットワークの皆様のお陰で無事にサマースクールが終了出来ましたことに厚く感謝申し上げます。